



センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体



赤塚小学校◎1年生 4学級 114名

「いもむしのたからぶくろ」

11月17日◎土曜日学校公開

よい天気にもまれた 11月の学校公開の土曜日、大勢の保護者の方が参観されました。1年生 114人が、のびのびと校庭中を使って、キロリのおにごっこで走り回り、紙芝居の後、自然のたからものさがしに、張り切って出かけました。

✧1年生の子どもたちの発見・気づき✧



✧「くるみ1個と、ドングリ10個ひろいました。6班のみんなどきょうりよくして楽しかったです。」
✧「いろいろな木の実やドングリをとてもうれしかった。」

✧「1本サラサラな木を見つけたよ。」

✧「鳥の音がきれいで楽しかった。」
✧「クルミが見つかってよかった。」
✧「花とどングりのにおいをかいで、いろいろなにおいをかいでいい匂いがした。」

✧「ちょっとけんかしたけど、おもしろかった。」
✧「風の音がいい音。」
✧「つくしみたいなのが見つかって大発見。」
✧「木の中にありがいた。」
✧「はちをみつけた。」
✧「つぼみみたいなのが大発見。」



✧「木の肌はざらざらしたりして自然っておもしろいな。」
✧「鳥の鳴き声見つけれられたよ。」
✧「鳥がピーピー鳴いてかわいかった。」
✧「花びらをかぐといい匂いだった。」
✧「クモの巣をみつけられたよ。」
✧「風の音が聞こえた。」
✧「白い羽を見つけてきれいだと思った。」
✧「私の手に TENTUMシがのってうれしかった」



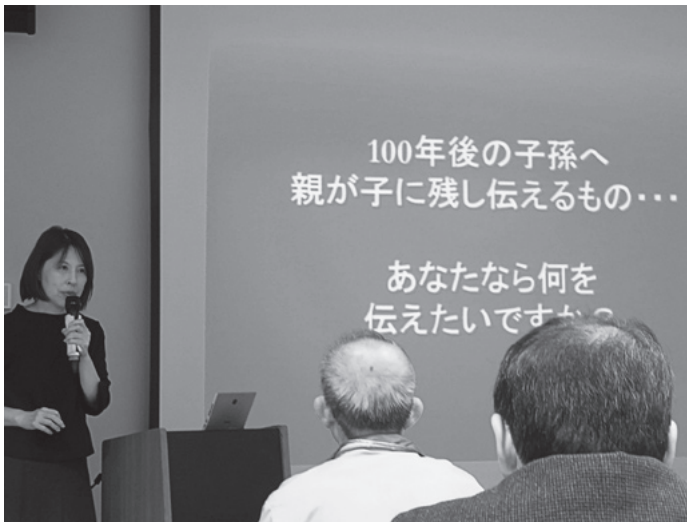
2019年明けまして おめでとうございます。

本年もみなさまのお幸せを願いつつ、 環境が少しでも良くなる方向へ、みなさまと活動を広げたいと思います。

センスオブアース一同

第10回 センスオブアース 区民みそ作り講座 11月25日

「大豆パワー再発見！」



◆講演者◆

東京家政大学ヒューマンライフ支援
センター専門員 内野美恵氏

◆みそ作り指導パートナー◆

東京家政大学教育福祉学科
宮地孝宣ゼミの学生たち 14名

講演要旨「100年後の子孫へ親が子に伝えたいもの」

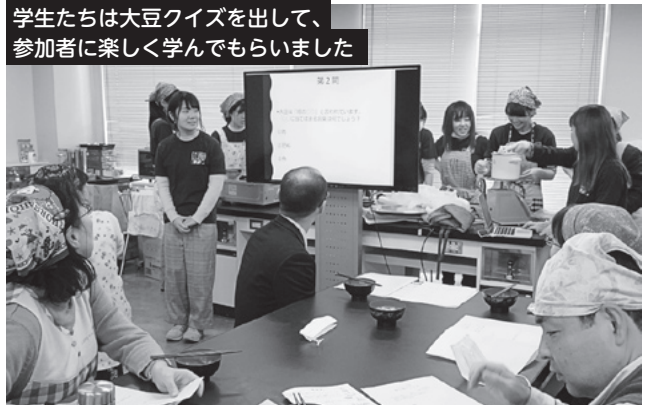
「10歳の時に食べたものは生涯食べる（味覚）！」 「食育はいのちの基本を学ぶこと！」 「万博日本館は行列がすごかった。なぜか、アニメ・コミックがよい、日本人は健康で長寿。」 「和食が健康食として認められたが、日本では米・魚・大豆離れが起きていて、肥満・心臓病・アレルギー疾患が増加。」 「がん・脳卒中・心臓病に日本も近づいている。」 「一汁・三菜が良い。」 「大豆の吸収率は90%。」

～

そして、最後にマジックジョンソンの名言から家族と食事をする事で親子の強い愛が育まれる大切さを学んだ講演でした。みそ作りに入ると、みそ作り指導パートナーの学生たちは、この日のために準備した諸活動を分担して、手際よく、区民のみなさまに、大豆の加工品、栄養、歴史をクイズを交えて説明し、みその作り方を紹介し、みそ汁を作って、区民の方々15人と一緒に交流し学びました。



事前に大学祭でみそ作りを体験・提供して、
この日もやり遂げた学生たち



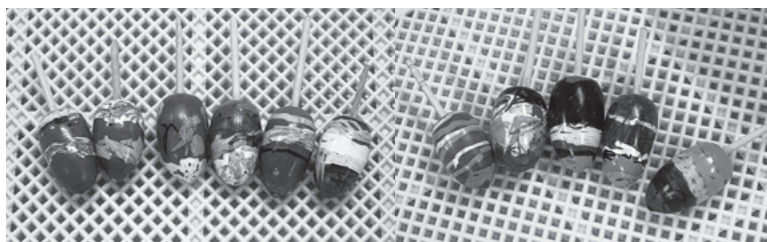
学生たちは大豆クイズを出して、
参加者に楽しく学んでもらいました



自分たちが昨年作ったみそを提供し、
食材も買いに行き、
おいしいみそ汁を作りました。

「どんぐりコロコロお山は大さわぎ」

私立 たつのご保育園◎5歳児22人◎11月14日



たつのご保育園 5歳児さんはお話を聞くのが上手で、さすが、もうすぐ1年生です。どんぐりを使ったかわいいコマづくりや、トトロの工作に集中して取り組み、見事な作品を作りました。(上絵)



☺「みんなで作って楽しかった」☺「コマを回して楽しかった。」☺「コマを回してきれいだった。」☺「コマ回しでゆうしょうしてたのしかった。」☺「コマ回しできてよかった。」



「風とながよし」

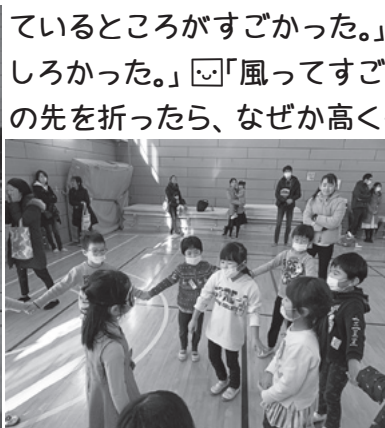
志村坂下小学校◎1年生3学級 66人
12月15日◎学校公開



クラスごとに風車と紙トンボを作り、体育館で回したり、飛ばしたりして風で遊ぶ体験をしました。全員よく風車が回り、笑顔と風車がとても似合いました。

☺「風でいろんなことができることが分かった。」☺「いろいろな風があっておもしろかった。」

☺「風がいろいろあるのがふしぎ。」☺「なんで風のかで動くの?」☺「風は見えないのに、ふいて



いているところがすごかった。」☺「速く走っておもしろかった。」☺「風ってすごいな。」☺「紙トンボの先を折ったら、なぜか高く飛んだ。」☺「風は紙トンボを回せる力がある。」☺「風で電気が作れるんだね。」

「冬の見次公園たんけん」「木の顔を作ろう」

志村第二小学校◎2年生 97人◎12月13日◎今年度、3回目の継続観察です

子どもたちが考えた木の顔の名前「木の顔の命名～くちっきー・びっくりまゆ毛・こまッ木ー・目ばなれ・ニッコイア・コマさん・ブルくん・サンタ木ローズ・サボリタイ・キョウダイ・髪長王さま・困ら緑」など、楽しい名前が続出しました。「木に命をあげるみたい。」



～紙芝居「子どもと森のひみつ作戦」を見て～

「木に命がある。」「木を大切にしよう。」「みんなが戻ってきてよかった。」

クラスごとに読んだ紙芝居を見て、2年生は木と子どもたちの関係の中に素直に入り込み、ぐんと木に共感しながら見ていました。



～探検や木の顔を作ってみて～

「なんか木が生きているのかと思う。」「木にも心があることが分かった。」「木によって全部違うかおでおもしろい。」「木によって葉っぱの色、大きさ、形が違った。」「木に顔みたいな模様があったのがふしぎ。」「夏ハトがいなかったのに、冬には、20羽ぐらいた。」「冬になると木の葉が落ちるのはなぜかな。僕は動物と同じで冬眠するんだと思う。」「鳥はいないのになき声だけはするので不思議だ。」「虫がいらないから、虫は冬眠したんだな。」「冬なものにはっぱが多いのがあってふしぎ。」「木にもちゃんと命があることを知りました。」「木に顔を付けるとほんとうに生きているように見

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052